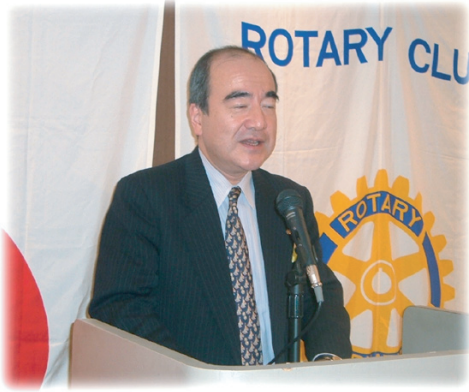




静岡RC
日本銀行静岡支店長
武藤 清 様

～ 最近の金融経済情勢について ～



皆様こんばんは。私も静岡ロータリークラブで駆け出しのロータリアンとして修行中の身ですので、これをご縁に何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

資料の図1の通り、現在の日本経済は第二次世界大戦後で一番長い期間景気の拡大が続いている局面であります。第二次世界大戦後日本経済は、敗戦の焼け跡から立ち上がって、高度成長期を経て、欧米諸国に経済の面ではキャッチアップしましたが、バブル経済が崩壊し、地価や株価が大幅に下がり、厳しい調整局面が10年以上続いたのですが

、2002年2月から景気が回復・拡大に転じて、今年で5年半以上の期間回復・拡大が続いています。長さの点だけで言えば、いざなぎ景気を抜いたこととなります。景気が拡大していることは間違いありませんが、いざなぎ景気と比べて図表の通り、伸び率は低いものとなっています。

結局、皆が一律景気が拡大しているという状況ではなく、輸出に関連した企業部門の景気がいいのに対して、個人部門・家計部門への波及が極めて緩やかになっている、したがって個人消費の関連業界とか、建設関連業界などの業況は大枠で厳しさを脱していません。

故に景気回復の実感に乏しい、実感が無いという受け止め方が多いということになります。

日本経済は2%程度の成長率を続けていますが当面今年度、来年くらいも2%程度の成長は続けるだろうというのが大方の見方となっています。

図表2 / 国内生産(GDP)の推移

図表3 / 世界経済成長率(実質GDP)

図表4 / 米国実質GDPの推移

図表5 / 米国の住宅投資

図表6 / 米国の金利

図表7 / 米国の株価

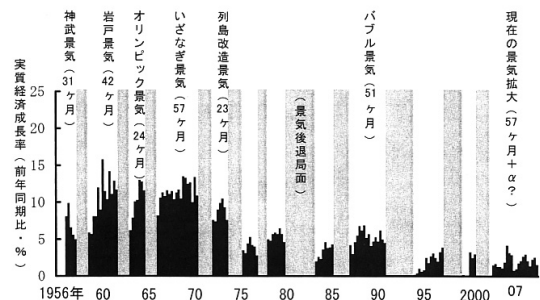
図表8 / IMFの世界経済見通し

図表9 / 市場金利

図表10 / 短観調査における業況判断指数(D.I.)

図表11 / 経常利益の足取り

戦後の大型景気の成長率と期間 (図表1)



	いざなぎ景気 (65年11月～70年7月)	バブル(平成)景気 (86年～91年2月)	現在の景気拡大局面 (2002年2月～)
実質成長率(年率平均)	11.5%	5.4%	1.7%
名目成長率(同)	18.4%	7.3%	0.6%
拡大期間の伸び率	122.8%	34.7%	4.7%
給料の伸び率(雇用者報酬)	114.8%	31.8%	▲0.0%
消費者物価の上昇	27.1%	8.5%	▲0.5%
労働人口の増減	351万人	413万人	▲75万人
景気のけん引役 (年率平均の伸び率、実質)	個人消費 9.6 設備投資 24.9 輸出 18.3	個人消費 4.4 設備投資 12.2 輸出 5.5	個人消費 1.1 設備投資 3.7 輸出 9.3

(注) ▲はマイナス。成長率、雇用者報酬は2007年4-7月期までの数値。消費者物価は07年7月までの数値。労働人口は季節調整値。
(資料出所: 日本経済新聞社)

出席報告 渡会委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	11/5	45名	32名	11名	—	3名	77.8%
前回	11/12	45名	29名	14名	—	(2名)	—
本日	11/19	45名	34名	9名	80.0%	(2名)	—